

船舶事故等調査報告書

平成24年11月22日
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

| | |
|-------------|---|
| 事故等番号 | 2012横第84号 |
| 事故等種類 | 運航不能（絡網） |
| 発生日時 | 平成24年6月5日 14時00分ごろ |
| 発生場所 | 千葉県房総半島東方沖 千葉県南房総市所在の野島埼灯台から真方位086° 379海里付近 （概位 北緯35° 03.0′ 東経147° 35.0′） |
| 事故等調査の経過 | 平成24年6月8日、本インシデントの調査を担当する主管調査官（横浜事務所）を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。 |
| 事実情報 | |
| 船種船名、総トン数 | 漁船 八号三代丸、119トン |
| 船舶番号、船舶所有者等 | MZ1-338（漁船登録番号）、岩切水産有限会社 |
| 乗組員等に関する情報 | 船長、四級海技士（航海） 漁ろう長、五級海技士（航海） |
| 死傷者等 | なし |
| 損傷 | なし |
| 事故等の経過 | 本船は、船長及び漁ろう長ほか20人が乗り組み、房総半島東方沖において、魚群を追い掛けながら北西進中、主機の音に変化した。 漁ろう長は、直ちに主機の回転数を下げてクラッチを中立とし、機関長に主機の点検を行うよう指示した。 本船は、機関長が主機の点検を行ったものの異状を認めず、また、船尾付近にいた乗組員から推進器に何かを巻いたような音がしたとの報告があったため、潜水して推進器周辺を点検したところ、推進器に絡網しているのが認められた。 本船は、自力航行を断念して僚船、タグボート及び海上保安庁に救助を要請し、来援した僚船にえい航され、途中でえい航を僚船から巡視船、タグボートと交替して千葉県勝浦市勝浦港に入港した。 |
| 気象・海象 | 気象：天気 晴れ、風向 西、風力 3、視界 良好 海象：海上 平穏 |
| その他の事項 | 本船は、本インシデント当時、操舵室上部において、8人の乗組員が双眼鏡を使用して魚群及び鳥を追っていたが、海面近くに浮遊した漁網を見付けることはできなかった。 本船は、勝浦港に入港後、船舶所有者が手配したダイバーによって推進器に絡網した漁網が取り除かれた。 |
| 分析 | |
| 乗組員等の関与 | なし |

| | |
|---|---|
| <p>船体・機関等の関与 気象・海象の関与 判明した事項の解析</p> | <p>なし なし 本船は、房総半島東方沖を北西進中、海面近くに浮遊していた漁網を推進器に巻き込んだことから、運航不能になったものと考えられる。</p> |
| <p>原因</p> | <p>本インシデントは、本船が、房総半島東方沖を北西進中、海面近くに浮遊していた漁網を推進器に巻き込んだため、発生したものと考えられる。</p> |